

2025年度 大谷大学自己点検・評価報告書（チェックシート）

基準1 理念・目的

評価項目① 大学の理念・目的を適切に設定していること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。				
視点	内容	点検結果		当年度の評価項目に対する実施状況／前年度からの変更／その他特記事項 《箇条書きで記入／適宜、根拠資料を用いて説明》
		前年度	当年度	
評価の視点1	大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。	○	○	■ 大学及び大学院の目的については、それぞれの学則に明記している（資料25-1-1【ウェブ】、25-1-2【ウェブ】）。 ■ 各学部・学科、研究科・専攻における教育研究上の目的についても、学則に明記している（資料25-1-1【ウェブ】、25-1-2【ウェブ】）。
評価の視点2	理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。	○	○	■ 教職員・学生及び社会への周知については、以下のとおり実施している。 （1）教職員・学生及び社会／大学Webサイト 「開校の辞」（資料25-1-3【ウェブ】） 「大谷大学樹立の精神」（資料25-1-4【ウェブ】） 「大谷大学ブランディングサイト」（資料25-1-5【ウェブ】） （2）教職員・学生／印刷媒体 『学生手帳2025』（資料25-1-6） 授業等（全学共通基礎科目『人間学Ⅰ』ほか）『大谷大学で学ぶー建学の理念ー』（資料25-1-7） 『大谷大学要覧2025.4－2026.3』（資料25-1-8） （3）教職員／スタッフ・ディベロップメント（以下、「SD」）としての 自校教育の研修実績（学内周知） 2025年度「仏教教育センター活動報告書」（資料25-1-9）

評価項目②		大学として中・長期の計画その他の諸施策を策定していること。			
視点	内容	点検結果		当年度の評価項目に対する実施状況／前年度からの変更／その他特記事項 《箇条書きで記入／適宜、根拠資料を用いて説明》	
		前年度	当年度		
評価の視点1	中・長期の計画その他の諸施策は、大学内外の状況を分析するとともに、組織、財政等の資源の裏付けを伴うなど、理念・目的の達成に向けて、具体的かつ実現可能な内容であるか。	○	○	■中・長期計画は、10年毎に策定している（資料25-1-10）。 ■理念・目的の達成に向け、大学運営会議（大学執行部）は各部門の現状や課題を把握した上で、10年毎に5部門（教育／学生支援／研究／社会連携／管理運営による部門別方針）による中長期プランを策定し、重点施策を実現するための具体的な中期計画・単年度事業計画を毎年度の大学運営会議で進捗管理を行って運営している。 ■5部門における単年度事業計画については、国の施策や社会情勢を注視しつつ、事業推進に必要なデータ分析のもとに、大学運営会議での進捗管理を行っている（資料25-1-11、資料25-1-12）。	
評価の視点2	中・長期の計画その他の諸施策の進捗及び達成状況を定期的に検証しているか。	○	○	■中・長期計画等の進捗管理は、第3期大学評価（認証評価）結果を踏まえ、理事会・評議員会の意見を聴取し、年2回（8月執行部夏季ミーティング／2月大学運営会議）の進捗管理と検証を実施している（資料25-1-11、資料25-1-12）。 ■なお、中・長期計画等の進捗管理と親和性の高い「私立大学ガバナンス・コード（私大連／2.1版）」の遵守状況の点検結果についても、あわせて大学運営会議で検証している（資料25-1-13）。 ■「私立大学ガバナンス・コード」は、私立学校法改正（2025年4月1日施行）により、理事会・評議員会・監事等の権限分配についての内容が改訂された。これに伴い、2025年度は遵守状況（取組状況）の確認フローについて以下のとおり②・③のプロセスを追加した。 ①大学運営会議において遵守状況報告書の確認 ②監事において「遵守状況報告書」の妥当性について確認 ③理事会において遵守状況及び「遵守状況報告書」を確認後、評議員会で確認の上、改めて理事会で最終確定し、公表（資料25-1-14【ウェブ】）	

(3)長所・特色 | 問題点

基準1 理念・目的

1) 長所・特色（あれば） ※成果を含む

No	自己点検・評価結果（長所・特色）			
1	点検項目	基準1	評価項目①	評価の視点1
	内容	■ 本学における宗教教育、宗教行事、教職員研修（自校教育）、真宗大谷派教師課程、仏教教育の情報発信など、建学の精神を具現化するために2018年度から仏教教育センターを開設し、その推進体制を構築した。 ■ 仏教教育委員会は、仏教教育全般に関する事項を審議し、本学建学の精神の具現化に資することを目的として設置されており、仏教教育センターのさまざまな取組について、年1回の検証を行っている（資料25-1-9）。 ■ 宗教行事における記念講演の一部を冊子化して学内外へ広く周知すべく、2023年度から『仏教教育センター叢書』を刊行し、2025年度も継続して情報発信に取り組んでいる（資料25-1-15）。		
	さらなる発展方策（あれば）	■ SD研修における「自校教育」は、教員を対象とする研修内容が過年度の課題であり、新入生の本山参拝式に新採用教員を対象とするなどの改善を進めている。2025年度は、教職員を対象に本学の学びの根幹である「建学の精神」をテーマとするSD研修会を継続して開催したが、今後も継続的に推進する必要がある。		
2	点検項目			
	内容	■ 特になし		
	さらなる発展方策（あれば）			

2) 問題点・課題（あれば）

No	自己点検・評価結果（課題）			
1	点検項目			
	対応組織			
	内容	■ 特になし		
	改善計画・方策			
	全学的な措置	☐ 担当組織で改善可能 / ☐ 大学運営会議で全学的な調整が必要 / ☐ その他（ ）		
2	点検項目			
	対応組織			
	内容	■ 特になし		
	改善計画・方策			
	全学的な措置	☐ 担当組織で改善可能 / ☐ 大学運営会議で全学的な調整が必要 / ☐ その他（ ）		